

佐藤 暁 (さとう さとる)

教授 博士 (学校教育学) 専門領域：障がい児教育臨床

研究室の活動

1 障がいのある子どもの保育・教育にかかわる実践研究

知的障がい、発達障がい、肢体不自由をはじめとした、障がいのある子どもの保育・教育にかかわる実践研究を進めています。療育やリハビリテーションの手法を探究するとともに、保育園・学校における教育支援の方法についても研究を進めています。

2 実践障がい学の構築

実践のあり方をめぐる、理論的な研究を展開しています。よかれと思ってしている実践も、もしかすると、子どもや家族のためになっていないかもしれないという疑問をもつことはとても大切です。実践に必要なのは、哲学者カントの言葉を借りれば、反省的判断力です。私たちは、「実践障がい学」(障がい児倫理学)の構築を目指しています。



主な著書です。実践の手引き書
(キーワードは「困り感」と
理論書(実践障がい学)です。

障がいのある子どももそうでない子どもも、ともに楽しめる「ゆる♪リト」
(ゆるーいリトミック)を考案しました。写真は、くるみ割り人形をモチーフ
にした活動のなかで、保育園の子どもたちに見せた紙芝居です。インクルージ
ョンの実現を意図した実践です。

学生さんへのメッセージ

障がいのある子どもとその家族を支援するためには、人一倍、勉強をしなければなりません。学生さんには、専門領域に留まることなく、幅広い教養を身につけ、より見晴らしのいいところに立ってほしいと願っています。